

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2019-218273

(P2019-218273A)

(43) 公開日 **令和1年12月26日(2019. 12. 26)**

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 35/39 (2015. 01)	A 6 1 K 35/39	4 B 0 6 5
A 6 1 P 1/18 (2006. 01)	A 6 1 P 1/18	4 C 0 8 1
A 6 1 P 3/10 (2006. 01)	A 6 1 P 3/10	4 C 0 8 7
A 6 1 P 43/00 (2006. 01)	A 6 1 P 43/00 1 0 7	
C 1 2 N 5/077 (2010. 01)	C 1 2 N 5/077	
審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 12 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号	特願2018-114828 (P2018-114828)	(71) 出願人	598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
(22) 出願日	平成30年6月15日 (2018. 6. 15)	(74) 代理人	100080160 弁理士 松尾 憲一郎
		(74) 代理人	100149205 弁理士 市川 泰央
		(72) 発明者	安波 洋一 福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号 学校法人福岡大学内
		Fターム(参考)	4B065 AA91X AC14 BB40 CA44 4C081 AB11 BA12 CD34 4C087 AA01 AA02 BB51 CA04 MA65 MA67 ZA66 ZB22 ZC35

(54) 【発明の名称】 インスリン産生膵島細胞創生方法

(57) 【要約】

【課題】 外来インスリン産生細胞を皮下白色脂肪組織内に共存させることにより、皮下白色脂肪組織内に新たにインスリン産生細胞を産生すること。

【解決手段】 この発明は、外来インスリン産生細胞を糖尿病罹患レシピエントの皮下白色脂肪組織部位、例えば鼠蹊部の皮下白色脂肪組織内に移植することにより、その皮下白色脂肪組織内に新たにレシピエント由来のインスリン産生細胞を創生することを特徴としている。また、前記外来インスリン産生細胞を、栄養血管が広範囲に分布している前記皮下白色脂肪組織に共存させることにより、前記皮下白色脂肪組織内の共存部位の近接部位に新たなインスリン産生細胞を産生すること等にも特徴を有する。

【選択図】 なし